

3歳児		笠岡市立城見保育所 年間保育計画				
保育目標		○園生活の流れや生活の仕方が分かり、自分で身の回りのことをしようとする。 ○保育者や友達に親しみをもち、友達とふれあいながら、安心して自分がしたい遊びに取り組む。		養護	○保健的で安全な環境をつくり、快適に生活できるようにする。 ○一人一人の子どもの欲求を受け止め、安心して生活できるようにする。 ○自分でしようとする気持ちを大切にしながら、基本的な生活習慣を身に付ける。	
年間区分		I期(4月・5月)	II期(6月・7月・8月)	III期(9月・10月)	IV期(11月・12月)	V期(1月・2月・3月)
ねらい		○新しい保育室や保育者に親しみをもち、安心して生活する。 ○友達や保育者と一緒に好きな遊びを見つけて楽しむ。 ○春の身近な自然に親しみ、興味・関心をもちながら関って遊ぶ。	○園での生活の仕方が分かり、身の回りのことを自分でしようとする。 ○保育者や友達と一緒に、夏ならではの遊びを十分に楽しむ。 ○身近な夏の自然に親しむ。	○日常生活の中で自分でできることは進んでしようとする。 ○保育者や友達と一緒に、同じ遊びをする楽しさを味わう。 ○のびのびと体を動かして遊ぶことを楽しむ。 ○秋の自然に触れながら遊ぶことを楽しむ。	○身の回りのことを自らしようとする。 ○遊びの中でイメージを膨らませたり、表現したりして楽しむ。 ○保育者や友達と一緒に様々な遊びをする中で、言葉のやり取りを楽しむ。 ○秋から冬へと移り変わる自然に興味をもち、触れて遊ぶ。	○身の回りのことを、自信をもって自らしようとする。 ○戸外で体を動かして遊ぶ心地よさを味わう。 ○冬ならではの自然現象に気付き、興味をもつ。 ○進級への期待をもって生活する。
育てたい子どもの姿	健康	・園生活の仕方を知り、少しずつ慣れる。 ・身の回りの始末の仕方を再確認する。 ・遊具や用具の、安全な遊び方を知る。 ・園庭や固定遊具で遊ぶことを楽しむ。	・遊びに必要な身支度や始末を自分でしようとする。 ・戸外遊びや水遊びで十分に体を動かすことを楽しむ。	・健康な生活リズムを身に付ける。 ・戸外で体を動かして遊ぶ楽しさを味わう。 ・友達や保育者と一緒に安全に気を付けて生活する。	・うがい・手洗いなどの健康管理の仕方を知り保育者や友達と一緒にやる。 ・戸外で思いっきり体を動かして遊ぶ。	・持ち物の始末や身支度など必要な動きを自分でする。 ・寒さに負けず戸外で体を動かして遊び、元気に過ごす。
	人間関係	・自分のクラスが分かり、担任や友達を覚え、親しみをもち生活や遊びをする。 ・保育者と気持ちよく挨拶をしたり、親しみをもちたりする。	・好きな遊びを楽しむ中で、友達のすることを見たり真似したりしながら一緒に遊ぼうとする。	・簡単なルールのある遊びやごっこ遊びを友達と一緒に楽しむ。 ・友達と遊ぶ中で自分の思いや気持ちを出し、保育者に支えられながら友達の思いを知る。	・保育者や友達と関わりながら遊ぶことの楽しさを感じる。 ・生活や遊びのきまりや約束を守りながら、友達と一緒に楽しんで遊ぶ。	・友達を誘って一緒に遊ぶことを楽しむ。 ・成長したことを喜び、進級を楽しみにする。
	環境	・いろいろな遊具や用具があることを知り遊ぶ。 ・春の草花や虫を見たり触れたりして楽しむ。	・生き物や植物に興味をもち、保育者が世話をするのを見たり手伝ったりする。 ・水や土などに触れながら、感触を味わえる遊びを十分に楽しむ。	・いろいろな運動遊具に触れて遊ぶことを楽しむ。 ・秋の自然に触れる中で、見たり触れたりしながら興味や関心をもつ。	・身近な物の色、形、大小などの違いに気付く。 ・集めた自然物を使っていろいろな遊びを楽しむ。	・冬の自然に触れたり体で感じたりする中で、驚いたり面白さを味わったりする。 ・文字や数などに興味をもつ。
	言葉	・したいこと、して欲しいことを保育者に動作や言葉で伝えようとする。 ・絵本を見たり、読んでもらったりすることを楽しむ。	・自分の経験したことや思いを自分なりの言葉で、保育者や友達に伝えようとする。 ・生活の中で必要な言葉が分かり、進んで使う。	・自分の思ったことや見たこと聞いたことなどを言葉で伝えようとする。	・友達との関わりの中で、言葉のやりとりを楽しむ。	・自分の思いを言葉にしたり、相手の話を聞こうとしたりする。
表現	・みんなと一緒に、知っている歌や手遊びをしたり体を動かして遊んだりする。 ・身近な素材に触れて楽しむ。	・身近な素材に触れながら、伸び伸びと歌ったりつくったりする。 ・保育者や友達と一緒に楽しんで歌を歌ったり簡単なリズムに合わせて踊ったりする。	・いろいろな素材を使って描いたり作ったり、それを使って遊んだりする。 ・音楽に合わせて身体をリズムカルに動かしたり、簡単な身体表現をしたりして楽しむ。	・身近な素材で好きな物を作り、それを使って見立てたりごっこ遊びを楽しんだりする。 ・保育者や友達と一緒に歌ったり簡単な楽器を使ったりして遊ぶ。	・気の合う友達と一緒に、自分の思いを言葉や動きで表現しながら遊ぶ。	
環境構成(☆)と援助(○)の工夫	☆靴箱、ロッカー、タオル掛けなどに個人マークをつけ、安心して持ち物の整理ができるようにする。 ☆好きな遊びができるように、遊具や用具の表示の仕方や配置などを整える。 ○一人一人を温かく受け入れ、どの子どもも安心感をもてるように心がけて小さなサインも見逃さないように配慮する。 ○好きな遊びをみつけられるように一緒に遊んだり、興味をもてるような誘い掛けをしたりする。 ○新しい環境の中で一人一人が自分なりのペースで少しずつ安心して過ごせるように生活の仕方や必要なきまりを丁寧に伝えていく。	☆水遊びが十分できるように場の設定や用具を工夫する。 ☆適度な水分補給と休息を十分とれるように配慮する。 ○生活習慣など個人差に応じて関わり、自分からしようとする気持ちを育てる。 ○興味のある遊びを楽しみ、次第に同じ場所にいる友達とつながりがもてるよう配慮する。 ○気温や湿度の変化により疲れが出やすい時期なので、休息を取れるように場の工夫をする。	☆運動会を楽しみにし、やってみたくと思えるように運動会の話をしたり、4・5歳児が遊んでいる様子を見たりする機会をもつ。 ☆興味のある遊びを友達と一緒に楽しめるよう場を整えたり、遊具や用具の数を調節したりする。 ○見守ったり励ましたりしながら、その子どもなりにやり遂げたという気持ちをもてるようにする。 ○秋の虫のいる場所や秋の草花のある場所を把握し、園児と一緒に見たり触れたりする。	☆いろいろな表現あそびが楽しめるように、必要な物や場を整える。 ☆自然物に触れたり遊びに使ったりできるように、目に付きやすい場所に置いておく。 ○トラブルの状況に応じて、見守ったり仲立ちをしたりしながら、相手の思いに気付けるようにする。 ○身の回りのことを自分から進んでしている姿を認め、意欲的に取り組めるように励ましていく。	☆暖房を入れる、換気する、寒さへの対応など、安全で健康的な環境になるように留意する。 ☆冬の自然現象や春の訪れに関心をもてるように、戸外で過ごす時間を大切に作る。 ○子ども同士で一緒に遊べるような環境を用意したり、保育者も一緒に仲間に入ったりしながら、必要に応じて声を掛ける。 ○進級に向けて意欲的に生活できるように、取り組みを認めたり生活習慣を見直したりする。	
主な行事	進級式・入園式・春の遠足・家庭訪問 小学校との合同運動会	プール遊び・七夕まつり・プレイナイト	運動会・秋の遠足・ハロウィンパーティー	生活発表会・クリスマス会	豆まき・ひな祭り・卒業式	